

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】平成 25 年 9 月 5 日 (2013.9.5)

【公開番号】特開 2011-109897 (P2011-109897A)
【公開日】平成 23 年 6 月 2 日 (2011.6.2)
【年通号数】公開・登録公報 2011-022
【出願番号】特願 2010-186793 (P2010-186793)
【国際特許分類】

H 0 2 K 5/04 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 5/04

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 18 日 (2013.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

静止部と、

上下に延びる中心軸を中心に回転可能な状態で、前記静止部に支持された回転部と、

前記静止部が固定された取付板と、

前記取付板の上面側に配置され、前記静止部に対して前記回転部を回転駆動させるための電子回路が実装された回路基板と、
を備え、

前記静止部は、前記回路基板の長手方向の中央位置より一方側に位置し、

前記回路基板は、前記長手方向の中央位置より他方側に位置するコネクタを有し、

前記回路基板の上面または前記回路基板の上面と他の面との境界に位置するエッジに当接して、前記取付板に前記回路基板を固定する固定部が、前記コネクタの前記一方側の端部よりも他方側の位置に、少なくとも 1 つ配置されているモータ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のモータにおいて、

前記固定部は、前記コネクタの前記長手方向の両端部の近傍に、少なくとも 1 つずつ配置されているモータ。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のモータにおいて、

前記固定部は、前記回路基板の前記長手方向の中央位置より一方側に、少なくとも 1 つ配置されているモータ。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 までのいずれかに記載のモータにおいて、

前記取付板は、前記回路基板の上面または前記回路基板の上面と他の面との境界に位置するエッジに当接して、前記回路基板を固定するかしめ部を有し、

前記固定部は、前記かしめ部を含むモータ。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のモータにおいて、

前記かしめ部は、前記取付板の外縁部が曲折され、前記回路基板の上面に当接された外形かしめ部を含むモータ。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のモータにおいて、
前記外形かしめ部は、前記回路基板の上面より上方に、断面積が最小となる部分を有するモータ。

【請求項 7】

請求項 5 または請求項 6 に記載のモータにおいて、
前記外形かしめ部の頂部が曲折された方向に、他の前記かしめ部が配置されているモータ。

【請求項 8】

請求項 4 から請求項 7 までのいずれかに記載のモータにおいて、
前記かしめ部は、前記取付板の外縁部以外の部位がバーリング加工されて形成された円筒部が曲折され、前記回路基板の上面または前記回路基板の上面と他の面との境界に位置するエッジに当接されたバーリングかしめ部を含むモータ。

【請求項 9】

請求項 1 から請求項 8 までのいずれかに記載のモータにおいて、
前記回路基板は、前記取付板の端縁部からはみ出した部分を有し、
前記固定部は、前記取付板の前記端縁部の近傍に、少なくとも 1 つ配置されているモータ。

【請求項 10】

請求項 1 から請求項 9 までのいずれかに記載のモータにおいて、
前記回転部は、前記回路基板の上面に間隙を介して対向しつつ回転する回転部材を有し、
前記固定部は、前記回転部材の下方に、少なくとも 1 つ配置されているモータ。

【請求項 11】

請求項 1 から請求項 10 までのいずれかに記載のモータにおいて、
前記取付板は、非円形の開口である肉抜き部を有するモータ。

【請求項 12】

請求項 1 から請求項 11 までのいずれかに記載のモータにおいて、
前記取付板の外縁部が曲折され、前記回路基板の上面と隙間を介して対向する対向部を、さらに備えるモータ。

【請求項 13】

請求項 1 から 12 までのいずれかに記載のモータにおいて、
前記回路基板は、前記長手方向に直交する幅方向の長さが、前記一方側および前記他方側に隣接する部分より短い狭隘部を有し、
前記コネクタの少なくとも一部分が、前記狭隘部に位置するモータ。

【請求項 14】

請求項 1 から請求項 13 までのいずれかに記載のモータと、
前記モータの前記回転部に保持されたディスクに対し、情報の読み出しおよび書き込みの少なくとも一方を行うアクセス部と、
前記モータおよび前記アクセス部を収容するハウジングと、
を備えたディスク駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本願の第 2 発明は、本願の第 1 発明のモータにかかり、前記回路基板は、前記長手方向に直交する幅方向の長さが、一方側および他方側に隣接する部分より短い狭隘部を有し、前記コネクタの少なくとも一部分が、狭隘部に位置するモータである。

